

## 77 増養殖対策

【1, 536 (1, 296) 百万円】

### 対策のポイント

- ・ さけ・ますの新たな種苗放流、国際的なウナギ資源管理措置への対応、ウナギ種苗の大量生産システムやクロマグロの完全養殖の実証化を行います。
- ・ カワウや外来魚の被害防止対策や新たな駆除方法の開発等を支援します。

### <背景/課題>

我が国の漁業生産量がピーク時から半減している中で、国民に水産物を安定供給していくためには、水産物の増殖及び養殖を一層推進する必要があります。

### 政策目標

主な栽培漁業対象魚種及び養殖魚種の生産量

(1, 572千トン (平成24年度) → 1, 739千トン (平成34年度))

### <主な内容>

1. 増殖に関する支援事業 433 (351) 百万円

(1) さけ・ます資源回復推進事業 357 (251) 百万円

太平洋側サケの来遊数の減少要因を究明するための調査を実施するとともに、回帰率を向上させるための放流手法の改良等を支援します。

※ さけ・ます対策としては、別途、東日本大震災復興特別会計（復興庁計上）において、被災地における採卵用サケ親魚の確保を支援する措置を要求しています。

(2) 二枚貝資源緊急増殖対策事業 76 (100) 百万円

資源の減少が著しい二枚貝の人工種苗生産技術を開発するとともに、増殖手法の実証化の取組を支援します。

（委託費、補助率：定額、1/2以内  
委託先、事業実施主体：民間団体等）

2. ウナギ対策関連事業 530 (423) 百万円

国際的な資源管理措置への対応を進めつつ、ウナギ種苗の大量生産システムの実証試験を加速化するとともに、ウナギ資源の生息状況調査、ウナギの遺伝情報を活用した系群判別、ウナギを含む内水面資源の生息環境の改善手法・放流用種苗の育成手法の開発等を実施します。

鰻供給安定化事業 154 (146) 百万円

ウナギ種苗の大量生産システムの実証事業

350 (250) 百万円

健全な内水面生態系復元等推進事業のうちウナギ対策関連事業

26 (27) 百万円

委託費、補助率：定額、1/2以内

委託先、事業実施主体：民間団体等

3. 健全な内水面生態系復元等推進事業 276(207)百万円  
広域的な連携の下で行うカワウ・外来魚の生息状況調査に加え、カワウの個体数削減に向けた駆除等の取組を支援するとともに、河川流域等における外来魚（コクチバス等）の駆除手法を開発します。

（委託費、補助率：定額、1/2以内）  
委託先、事業実施主体：民間団体等

4. 養殖に関する支援事業 296(316)百万円  
クロマグロ増養殖の実現に必要な技術の開発及び次世代型陸上養殖技術の開発を実施するとともに、養殖業者の抜本的な生産コストの抑制手法や収入の増加に繋がる新たな養殖手法の開発支援に加え、新たに二枚貝の増養殖と組み合わせたノリ養殖試験を実施します。

（二枚貝の養殖等を併用した高品質なノリ養殖技術の開発事業[新規] 49(一)百万円  
クロマグロ養殖最適親魚選別・確保技術開発事業 89(98)百万円  
次世代型陸上養殖の技術開発事業 117(130)百万円  
養殖魚安定生産・供給技術開発事業 42(46)百万円  
委託費、補助率：定額、1/2以内  
委託先、事業実施主体：民間団体等

[お問い合わせ先：水産庁栽培養殖課（03-3501-3848）]

# 増養殖対策の概要

【平成27年度予算概算要求額:1,536(1,296)百万円】

## ポイント

- 太平洋側サケの来遊数の減少要因を究明するための調査等、増殖に関する事業を展開。
- 国際的なウナギ資源管理措置への対応、ウナギ種苗の大量生産システムの実証試験の実施。
- カワウ・外来魚の広域的な被害対策等、健全な内水面生態系の復元に向けた取組を推進。
- 陸上養殖を含む新たな養殖技術・手法の開発等、養殖業の振興に向けた取組を支援。

## 1. 増殖に関する支援事業 433(351)百万円

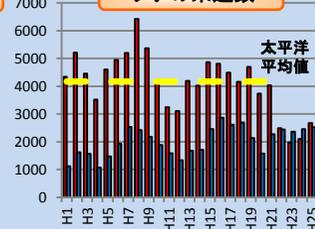
- 回帰率を向上させるための放流手法の改良や高品質な資源の造成を図る取組を支援
- 来遊数が減少している太平洋側のサケについて、降海後の稚魚の動態調査等により、減少要因を明らかにした上で、ふ化放流手法の改良を実施
- 二枚貝の人工種苗生産技術の開発とともに増殖手法の実証化の取組を支援

太平洋のサケ稚魚を集中的に調査



万尾

サケの来遊数



## 2. ウナギ対策関連事業 530(423)百万円

- ウナギ資源の増殖のための放流や海外の養鰻業者との資源管理に関する協議に対する支援
- ウナギ種苗の大量生産の実用化を加速させるシステムの実証試験を実施

ウナギ種苗の大量生産システムの実証



効果的な放流を実施



## 3. 健全な内水面生態系復元等推進事業 276(207)百万円(ウナギ対策関連除く)

- 外来魚の駆除手法の開発、地域間の広域的な連携による推進体制の下でのカワウ・外来魚の生息状況調査、被害防止対策等の取組を支援

カワウ・外来魚による食害



## 4. 養殖に関する支援事業 296(316)百万円

- 閉鎖循環式陸上養殖の最大の課題であるコストの低減等を目指し、技術の高度化・システムの統合環境制御等の導入・実証試験等を実施
- 二枚貝の増養殖と組み合わせたノリ養殖試験を実施し、品質向上を効果等を確認
- 資源・環境に優しいクロマグロ増養殖の実現に必要な技術開発の実施
- 養殖業者が自主的に取り組むことが困難な、抜本的な生産コストの抑制手法の開発を支援

閉鎖循環式陸上養殖の実証試験



・国民に対する安定供給の確保  
・ウナギ資源の持続的利用  
・栽培及び養殖魚種の生産量の回復